

ご勇退される 方々より



ありがとうございました



松前町立松城小学校
飯田 正典

八雲町立熱田小学校を振り出しに、渡島管内の一市三町で勤務させていただきました。

社会人としての第一歩を踏み出した熱田小学校は、職員が私に他に二人だけの小さな学校でしたが、二人とも夕陽の先輩で公私ともに、大変お世話になりました。その後は函館市内の学校が続きましたが、どの学校でも、多くの先輩諸氏に仕事上でもほかの面でも多くの示唆を受けながら、楽しい充実した毎日をご過ごすことができました。

また、恵山町、松前町でも、たくさんの仲間や後輩と巡り会い、助けられたお陰があったればこそ、現在の自分があるのだと思っています。

今、退職を迎えるに当たり、多くの同窓の皆様にお礼、仕事でできたことに心から感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。

夕陽の心意気で



松前町立松前小学校
大島 道夫

大学を卒業して最初の赴任地は十勝北部の上士幌町というところでした。そこは、行くのも見るのも初めての町でした。誰一人として知り合いませんでした。そんな中で、中学校の教頭先生が音頭を取って開いてくれたのが、その町の夕陽会の歓迎会でした。小さな町でしたが、十二、三人集まってくれたと記憶しています。函館から遠く離れた片田舎にも夕陽の会員がいて、みながんばっていることを知り心強く思ったものでした。

これが夕陽と私の出会いですが、それから今日まで多くの先輩に声をかけていただき、教職を全うすることができました。

私は寮生でもないのに、古い研究室で（入学当初、旧校舎の方にも美術の研究室があったのです）歌った寮歌を赴任しても歌うとは思いませんでした。感謝。

ありがとうございました



知内町立湯ノ里小学校
丸山 隆一郎

森町立石倉小中学校をふり出しに、一市二町での教職生活三十七年を間もなく終えようとしています。

退職を間近に控え、これまでの生活を振り返ると、様々なことが思い出されてきます。

特に印象深いのは、知内町で過ごした七年間です。知内支会には「夕陽」の重鎮である田島隆先生をはじめ多くの大先輩の方々がいらっしやいます。緊張し、また大変心強く思いました。懇親会では寮歌の歌い方のご指導をいただき、声高らかに歌ったことも心に残っています。改めて同窓の深い絆を感じると共に、誇りと責任を感じた次第です。

今、退くにあたり、実に多くの同窓の方々にお世話になりましたことに感謝申し上げますとともに、今後の夕陽のますますの発展をご祈念いたします。

今後も一員として



木古内町立鶴岡小学校
上平敏和

同窓の有り難さを感じたのは初任で遠く渡島を離れたときでした。ちよつと意味は違いますがまるで室生犀星の小景異情「ふるさととは遠きにありて思ふもの」の様な感動を覚えたものです。釧路管内の僻地4級地でしたが、初任者研修の時に担当の指導主事が、「私も函館です」と声をかけてくれ「何でも相談してください」と言ってくれたお陰で三十七年間頑張れたのだと思っております。

その点、渡島は自戒も含めて同窓ばかりの状況に慣れきってしまっているような気がします……。

今後、夕陽会も母校の形態の変化に伴って、教育界主体から大きく変容していくことと思えます。素敵な変容となるよう、退職後は何かのお役に立てればと考えています。これまでのご支援、有り難うございました。

夕陽の絆熱く



北斗市立茂辺地小学校
佐藤茂樹

根室管内中標津町立中標津東小学校を皮切に、二市五町二八年間にわたる教職生活。この間、夕陽会並びに会員の皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。

初任当時、道路もまだ整備されていない中、釧路管内に赴任した夕陽の仲間を呼びバスケットの練習をやったことを懐かしく思い出します。

その後渡島に異動し、多くの夕陽の諸先輩とともに教職生活を続けておりましたが、正に夕陽の先輩のきっかけで行政を経験、貴重な社会体験を数多くすることができました。

現在は、不勉強を詫びながらも、最後の最後まで子供の健全な成長を願い、全力投球したいと考えているところです。

これまでの皆様のご協力に心より感謝申し上げますとともに、夕陽の熱い絆が永遠に続くことを心より願っております。

夕陽讃歌



北斗市立浜分小学校
道幸拓志

「夕陽讃歌」が歌い継がれていますが、歌うたびに、夕陽会創立八十周年を記念した様々な事業と関わった方々の姿がよみがえります。

昭和六十二年、知り合いの全くない宗谷教育局勤務でしたが、同窓というだけで受け入れていただきました。とりわけ、難しい対応のある中で、凛とした姿勢を保ちつつ、温かい学校経営をする稚内市のS校長からは、多くのことを学ばさせていただきました。

十年の時は流れ、式典当日、ご勇退され札幌に住まわれているとお聞きしていたS校長と交わした握手は、温かく、『拓北の熱き想いに・』の歌と共にこの上もない喜びでした。

多くの方々の支えがあり退職の年を迎えることができました。ありがとうございます。

同窓の絆に感謝して



北斗市立市渡小学校
中津和雄

昭和四十六年四月、松山管内の厚沢部町立豊丘小学校を振り出しにスタートした私の教職生活も、間もなく終着駅に到着です。

振り返ってみると、自分のような浅学非才の小心者が、よくぞここまでこれたものだと思いがつく思います。未熟な私が今あるのは、これまでに出会った多くの方々の温かいご指導やご支援のお陰であると感謝の思いでいっぱいです。

とりわけ、同窓の皆様には、私の勤務した二市三町の各学校・各支会において、公私にわたりお世話になりました。特に、管理職になってからは、夕陽の諸先輩や同期諸君の助けを借りることが多くなり、年齢を重ねるごとに同窓の有り難さを感じるようになりました。

お陰様で任期満了。夕陽会の皆様から感謝いたします。

充実した日々に感謝



北斗市立萩野小学校
藤澤 建二

新卒で松前町の松城小学校に赴任。初めての社会人として一歩を踏み出すが、まったくの知らない地。下宿のおばさんからストーブを借りて夜を過ごし「ごきぶり」を昆虫と間違えて大笑いされた生活のスタートでした。

周りの先生は大半が夕陽。後輩として歓迎されましたが、あの頃の先輩の授業に対する指導は厳しく今の自分がつくられたような気がします。その後、木古内、磨光、木直と、転勤を重ねるたびに人と出会い、様々な経験をさせていただきました。

その後、校長として春日小、萩野小に転勤、平成十六年に体調を崩したのですが、周りの温かいご支援で何とかここまでこられました。

夕陽の温かい絆を心に刻みながら、第二の人生を歩みます。ありがとうございます。

ありがとうございます



北斗市立茂辺地中学校
増田 順一

松山管内瀬棚町立美谷中学校を振り出しに、二市五町で勤務させていただきました。

勤務させていただいた多くの学校で夕陽の諸先輩にお世話になりました。

料理などしたことのない私でしたから、自炊しなければならぬ時、夕陽の先輩と同居させてもらい、自炊の手ほどきを受け、美味しく食べさせてもらったことや、若僧の私を、大きく包み、温かさを感じながら過ごさせていただいたことが忘れられません。

また、函館市の潮見中学校時代には、函館支部の会計を担当し、年に一度の大懇親会の会計業務の多忙さと、年間に取扱う額の大きさに驚きを抱いたことが、昨日のこのように思い出されます。

多くの先輩・仲間を支えられ、今、教職生活を閉じます。ありがとうございます。

「夕陽」という響き



北斗市立上磯中学校
酒井 充

一つの仕事を終え、退職を迎えた会員がまず口にする言葉は「夕陽に感謝！」ではないでしょうか。昨年度の会報を見ても、異口同音「感謝」の言葉が述べられています。

私も後志管内蘭越町を振り出しに三市五町で勤務しましたが、「夕陽」という響きは、苦しい時は檄をとばして励ましを嬉しい時は喜びを分かち合ってくれた同窓の温かさを感じさせてくれた言葉でした。

ご勇退された多くの先輩が勤務地は違っても感謝の言葉を残したのは、このような思いを感じ取っていたからではないかと思えます。

多くの同窓の皆様にお世話になりましたことに感謝とお礼を申し上げますとともに、夕陽会渡島支部の同窓の絆が一層強く結ばれ、発展しますことを祈念いたします。

『巴湾の水』と『亀田の森』に感謝



七飯町立大沼小学校
前田 政男

就職すると同時に、五十五歳になつたら退職し、年金で好きなことをやって暮らそうと思うような「我が儘」な性格は、周りの諸先輩には大いに迷惑をかけました。見かねた『夕陽』の先輩が、ある酒席で「これと言った取り柄のない奴が、後三十年もどうやっていくんだ」と叱咤され我に返る。今まで「狭い」同窓意識しかない者にとつての「きつい」一撃は、私の人生にとつてはありがたいものでした。特に最後の十年、管理職になってからは、同期や先輩校長、教頭、果ては退職校長、教育長さんまで懇意にしていたこと、今後の人生の励みになることと思えます。

私にとつての『夕陽』賛歌は、いつまでも「巴湾の水の精」を掬むことであり、「亀田の森の霊」を採ることであります。感謝。

有難うございました



七飯町立峠下小学校
大和田 正人

昭和四十六年五月、張り切って檜山管内厚沢部町の単級学校に赴任したのが、つい昨日のことの様に思い出されます。

それぞれの勤務地には常に夕陽会の先輩がおられ、同窓の誼がきっかけとなって、教材研究は元より趣味の世界まで幅広く、多くのことを学ばせて頂きました。

若い頃は食欲旺盛で、夕陽会の懇親会が大変楽しみでした。校長先生に連れられて函館支部の総会・大懇親会に出席した時、乾杯と同時に猛然と食べ始め、周りの女性の方々から自分の分まで、沢山の料理を取って頂きました。校長先生が「すみませんねえ。この先生は普段ご馳走を食べたことがないもんですから。」と、しきりに謝ってくれました。汗顔の至りです。夕陽会の皆様、今までのご厚情、誠に有難うございました。

夕陽の絆



七飯町立東大沼小学校
田鎖 正志

函館分校卒業とともに、多くは全道や関東方面にちりぢりになり、私も後志管内黒松内町の中学校に赴任しました。当時は、俗にミサイル人事と称される全道規模の人事異動が行われた直後で、赴任した学校にも後志は勿論、日高や空知、上川など全道の様々な地域からの先生方がいらつしやいました。

しかし、渡島に近いせいか、学校や町内に夕陽の方々が多くおられます。おかげでたくさんの方々と親交を深めたり、助力をいただくことができました。その後、渡島に戻ることができて、一市五町での勤務を経て現在に至ります。

今、教職を終えるにあたり各地で多くの同窓の方々にお世話になりましたことに感謝申し上げます、夕陽の絆が永遠に続くことを祈念いたします。

感謝申し上げます



七飯町立軍川小学校
熊谷 一英

静狩峠を越えて赴任した土地は、根室市でした。確か、汽車で十五時間くらいかかったと思います。ある日、管内の夕陽会の集まりがあり、そこで初めて、そのような組織があることを知りました。その時は、管理職の先生方が多かったのですが、温かいまなざしの中で、ほっとしたような気持ちになりました。

その後、函館・知内・大野・上磯・長万部での勤務を経験することができました。三十八年間の教職の道を終えるにあたり、多くの同窓の方々の支えの中で、今の私があることに改めて感謝申し上げます。今後の人生は、まだ定まりませんが、まわりに迷惑を掛けないように生きていきたいと思っております。

これからも、母校・夕陽会が、益々充実・発展することを祈念申し上げます。

有り難うございました



七飯町立大沼中学校
福永 則昭

多くの同窓生を輩出している夕陽の一会員として三十八年の教職を終る時が来た。

私は渡島だけでなく、道央や胆振、檜山にもいた。

それぞれに夕陽の会があり、活発に活動していた。そしてそれそれに性格が違う。

道央は、夕陽など頭に無い。胆振は、渡島を本部、自分たちを亜流と、そして檜山は、夕陽に絶望している。江差の島島から見る日本海に出る夕日はきれいだ。

各地で会員が夕陽に託す願いは異なる。各地の夕陽会の会員の想いを少しでも叶える会になることを思い、夕陽の活躍を願い、三十八年の教職を終る。



退職にあたって



鹿部町立鹿部小学校
補 豊

とつても良い時代に過ごせたと
思っています。卒業をしたら
中学校勤務だと思っていました。
就職状況は、少しずつ厳しく
なっていました。学校では、
学生が就職しやすいようにと複
数の免許の取得を勧めていま
した。

道北の小学校に就職できまし
た。全校児童三十名の複式校で
五・六年生の担任でした。五十
名の学級を過ごしてきた身に
は、新鮮でした。次の赴任校で
は、一年生の担任も二回。これ
で小学校教員の道が決まりました。
た。

三十六年、十の小学校を渡り
歩きました。環境が変わる毎に
職場の皆様の暖かい気遣いで、
何とか過ごしてきました。

おかげさまで担任児童の卒業
と共に退職できることを感謝し
ます。ありがとうございました。

夕陽会の飛躍を期待して



森町立鷺ノ木小学校
木野 皇

宗谷管内が振り出しでした
が、小世帯ながらも校長はじめ
サッカー部の先輩に夕陽会が
おもしろい心強かったのを覚えていま
す。枝幸町での総会の折、当時
の校長会長から夕陽の絆は強
い、教育実践で宗谷の教育を引
っ張ってほしいと励まされ
ました。

約束は果たせないまま、その
後三十二年間は渡島で七校勤
務。夕陽会の支会や支部役員を
務めながら、身近に同窓の大切
さを実感しました。豊富、福島、
大野、森、長万部と五町八校で
教育というかけがいのない経験
をし、子供、地域、そして同僚
らと充実した日々を送ってきた
ことが思い出されます。部活に
少年団活動、環境教育、教頭会
の仕事、渡復研、渡教連協……。

今、退職を終えるにあたり、
お世話になった皆さまに心より
感謝すると共に、夕陽会の益々
の飛躍を願うものです。

皆様に支えられて



森町立駒ヶ岳小学校
澤 出 博 章

「退職」人ごとのように思っ
ていたら、あと僅かである。寂
しい気持ちです。思い起こせば、
教師になりたいとの思いで教育
大学函館分校に入学した。当時、
五稜郭駅から八幡町の貯炭所ま
で貨車の引き込み線路があっ
た。学舎には、五稜郭駅まで汽
車に乗り、駅から線路伝いに友
人と歩き通ったことが懐かしく
思い出される。夢叶ったの就職
の道、どの学校でも夕陽の先輩、
同僚、後輩との中で鍛えられ支
えられての就職生活でありまし
た。

皆様に深く感謝申しあげると
共に母校と
夕陽会が
増々発展す
ることを御
祈念致しま
す。ありが
とうござい
ました。



夕陽に感謝して



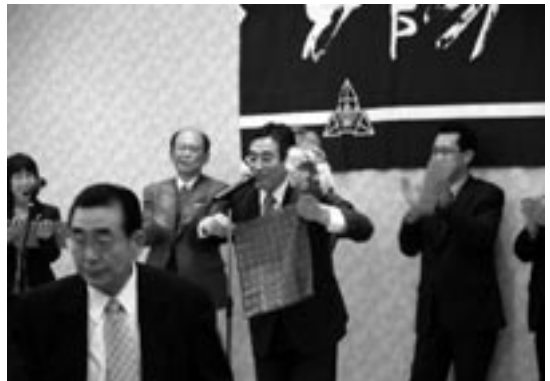
八雲町立八雲小学校
柏崎 勝太郎

卒業後、十勝・渡島管内六町
にお世話になり、三十八年間の
就職生活に幕を閉じます。

最初に赴任したのは、十勝の
音更町立音更小学校でした。教
職員三十五名の大規模校でした
が、夕陽の先生は一人しかいま
せんでした。その夕陽の先輩
から「遠くまでよく来たな、何
でも相談してくれ！」と励まし
の声をかけられ、同窓の温かさ
に感激しました。

その後、渡島に帰り八雲、知
内、南茅部、七飯、森の各町で
勤務を経験しました。渡島には、
多くの夕陽の諸先輩や仲間がい
て、酒を飲みながらの教育談義、
励ましの指導や助言など、親し
く声をかけて貰い同窓の繋がりに
心強さを感じました。

今、退職を終えるにあたり同
窓の方々へ感謝申し上げますと
ともに、夕陽の更なる発展を心よ
りお祈りいたします。



平成20年度 勇退者激励感謝の会

